学校番号	１００７

令和３年度　商業科

教科	商業	科目	電子商取引	単位数	２単位	年次	２年次
講座名	文書デザインⅡ						
使用教科書	電子商取引　（実教出版）						
副教材等	日本語ワープロ検定試験模擬問題集１級・準１級編（日本情報処理検定協会）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・実践的・体験的な学習を通して、情報通信ネットワークについて学び、商取引の意義について理解を深め効果的な使い方は何かを考えましょう。
・コンピュータやネットワークを利用したコミュニケーションについて演習等を通して考えましょう。

2　学習の到達目標

・高度情報社会における企業の役割を理解させる。
・情報通信ネットワークを活用した商取引の意義を理解させるとともに，それを行うための知識と技術を習得させる。
・利用者の立場に立ったシステムを構築するため，コンピュータを効果的に活用する能力と態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・ビジネスにおける電子商取引の必要性に気づき，商取引に情報通信技術を活用しようとする意欲を持って，電子商取引システムの構築に必要な知識や技能を積極的に学ぼうとしている。	・電子商取引システムを構築するために，目的に応じた機器やソフトウェアを選択して利用したり，顧客の立場に立ったデザインに加工する工夫を行うとともに，分かりやすい情報発信ができる。 ・知的財産権を意識したウェブデザイン設計を行うことができる。	・図形や静止画，動画，音声などのコンテンツを利用した情報発信に必要な機器やソフトウェアの利用および，ウェブページの作成技法を身につけるとともに，これらを活用して電子商取引システムを作成できる。	・ビジネスにおける電子商取引の意義や役割を理解するとともに，ウェブページを用いて情報を効果的に伝えるための基礎知識や分析，企画・立案，制作，公開の手法を身につけている。
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 実習作品 レポート、発表 相互評価・自己評価 等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 レポート、発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価　等	学習状況の観察 課題作品 発表 実技テストの結果 等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 定期考査の結果 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

ターム	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1ターム	ウェブデザインと広告・広報	○ウェブページ制作までの手順 ○ウェブデザイン設計 ○ウェブページ制作の基礎 ○ウェブページ制作の応用	○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a:ウェブページなどのインターネットを活用した広報活動に興味を持ち，これを効果的に行うための知識を積極的に学ぼうとした。 b:ウェブデザインにおいて，顧客の立場に立ったコンセプトを自ら考え，それをウェブページに表現をしようと工夫することができる。 c:コンセプトに合致したロゴデザインを作成することができる。 d:色彩，フォント，レイアウトなど，デザインするための基礎的な知識を理解している。	授業観察 ワークシート 定期考査
2ターム・	ウェブページの公開	○ネットワーク機器の種類と機能 ○公開の方法	○	○	○	○	a:ウェブページの公開について，その仕組みや具体的手法を積極的に学ぼうとした。 b:コンピュータの構成や特徴，ハードウェアの仕組みなどについて思考を深め，目的に応じた選択を行うことができる。 c:ハードウェア，ソフトウェアの種類とその仕組みから，目的に応じて組み合わせ，適切にネットワークを構築できる。 d:ハードウェアに関する基礎知識を身につけ，その働きや仕組みについて説明できる。	授業観察 ワークシート 定期考査
3ターム・4ターム	電子商取引とビジネス	○電子商取引のしくみ ○企業間取引と企業対消費者間取引 ○電子決済のしくみと方法 ○電子商取引システムの作成	○	○ ○	○	○ ○ ○ ○	a:シスの構築に関心を持ち，その手順や作成の方法を積極的に学ぼうとした。 b:電取引におけるさまざまな法律による規制について配慮することができる。 c:目応じた電子商取引システムを構築できる。 d:電子商取引の意義や市場規模，実店舗との違いなどについて説明できる。	授業観察 ワークシート 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。